

## 倉阪秀史（くらさか・ひでふみ）



千葉大学大学院社会科学研究院教授

1987年から1998年まで環境庁で勤務。

地球温暖化対策の立ち上げ、環境基本法案の立案などにかかわる。

2006年から、全国の自治体の再生可能エネルギー供給量などを推計する「永続地帯研究」を実施。

2017年に全国の自治体の人口減少のインパクトを視覚化する「未来カルテ」公表。

環境政策論、持続可能性の経済学、合意形成論。

主著に、『持続可能性の経済理論』東洋経済新報社、『環境政策論第3版』信山社、『政策合意形成入門』勁草書房など。